

院内トリアージについて

高度救命救急センターでは、24時間体制で医師、看護師が常駐しており、傷病の程度に関わらず、あらゆる年齢、あらゆる診療科の患者さんの救急受診に対応しています。

当院は山陰両県で唯一の高度救命救急センターであり、生命に危険をおよぼすような状態、高度な治療・検査が必要な患者さんの診療を担っています。受診に際し、以下のことにご理解ください。

1. 高度救命救急センター外来では診療予約は受けておりません。受付後に看護師による**院内トリアージ**を行い、診療順を調整させていただきます。迅速な対応の必要な患者さんへの診療を優先させていただくため、お待ちいただく場合があります。
2. 急性期の症状への対応が主となりますので、投薬は必要最小限の日数に制限されます。
3. 診断書などの公的な書類は、原則として次回一般外来受診時に発行いたします。

院内トリアージとは

患者さんの血圧や脈拍、呼吸などのバイタルサインの測定・観察と、症状や経過についての簡単な問診から、**病状の緊急度と重症度を推測し、診療の優先度を判断**することです。

トリアージの目的は**患者さんの安全と安心**を守ることです。

トリアージナースは緊急度の判断だけでなく、安心してお待ちいただくための簡単な応急手当や説明も行います。

トリアージ分類

緊急

- 意識が悪い、血圧が極めて低い、うまく呼吸ができないなど、**生命の危険が差し迫った状態**
- **直ちに診療を開始します。**

準緊急

- 血圧や呼吸は安定しているが、**何らかの処置や詳しい検査が必要と思われる状態**
- **おおむね、30分以内に診療するか、再度トリアージします。**

低緊急

- 血圧や呼吸が安定していることに加えて、**短時間での病状悪化の危険が低いと思われる状態**
- **優先度の高い患者さんがいらっしゃれば、診察を待っていただきます。1時間以内に再度トリアージします。**